

## 都民・大学研究者による事業提案制度 都民投票を開始します！

都では、都民・大学研究者による事業提案制度（都民提案・大学提案）を実施しています。それぞれについて事業案を募集した結果、都民の皆様から684件、大学研究者の皆様から40件の事業提案をいただきました。

今般、都民による投票の対象として、都民提案から13件、大学提案から10件を選定いたしました。このたび、これらの選定された事業案について、都民の皆様によるインターネット等による投票を実施いたします。

都民の皆様からの投票の結果を踏まえ、事業案を令和5年度予算案に反映していきます。多くの投票をお待ちしております。

### <投票の概要>

#### (1) 投票の対象者

令和4年4月1日時点で満15歳以上であり、投票を行う時点で都内にお住まいの方。

ただし、東京都職員や東京都議会議員等は投票できません。

#### (2) 投票方法

①インターネット又は郵送により投票することができます。

ア インターネット

東京都財務局ホームページ内の都民投票のページ※から投票フォームに進むことができます。

※都民投票のページ <https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/teian/5tomin.html>

イ 郵送

上記URLから投票様式をダウンロードし、以下の宛先まで送付してください。

- ・送り先 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
- ・宛て名 東京都財務局主計部財政課 事業提案担当

②投票は、都民1人当たり、1回までといたします。

③都民提案、大学提案それぞれについて、3票まで投票することができます。

④都民提案については、投票の際、事業案の改善点などの意見をあわせて投稿することができます。



(裏面へ続く)

### **(3) 投票期間**

令和4年8月12日（金）15時から同年8月29日（月）23時59分まで（郵送は必着）

### **(4) 投票対象事業**

別紙のとおりです。投票期間中、東京都財務局ホームページ又は都民情報ルームにおいて対象事業の内容を閲覧できます。

### **(5) その他**

- ・ 今後、実施に向けた調整の過程で、事業内容が一部変更となることがあります。
- ・ 投票結果などに対する個別の回答はいたしかねます。
- ・ 郵送代や通信料など、投票に係る一切の費用は、投票者ご自身の負担となります。
- ・ 個人情報については、東京都個人情報の保護に関する条例（平成2年東京都条例第113号）等の規定に基づき、適切に取り扱います。

**【問合せ先】**

財務局主計部財政課

電話 03-5388-2669

## 都民による事業提案制度 投票対象事業一覧

No.	分野	事業名	事業概要
1	出産・子育てへの支援	子育て情報共有アプリ・サイト	育児不安の解消のための情報や、子育てのヒントとなるような情報を容易に得ることができるよう「とうきょう子育てスイッチ」アプリ・サイトの情報を拡充する。
2	将来を担う若者の育成	地域での伝統文化の継承	多様な文化を尊重できる態度や資質をはぐくむため、各地域で有識者等を招き、児童・生徒が様々な伝統・文化を体感し理解する機会を創出する。
3	長寿社会の実現	ドライブシミュレータを活用した高齢ドライバーの交通安全対策	高齢ドライバーの交通安全に向け、ドライブシミュレータ等を活用した交通安全セミナー等を開催する。
4	長寿社会の実現	TOKYO シニア食堂推進事業	地域の高齢者が気軽に立ち寄り、飲食をしながら様々な交流をすることができる TOKYO シニア食堂の取組を推進する。
5	女性の活躍促進	働く女性の健康に関する普及啓発	女性が健康を保ちながら働き続けやすい職場環境の推進に向け、生理や更年期症状など、女性特有の健康課題について普及啓発を図る。
6	バリアフリー化の推進	鉄道駅バリアフリー充実事業	障害者や高齢者等が駅構内で円滑に移動できる環境の充実に向け、ターミナル駅等における手すりやエレベータの増設、段差のスロープ化の可否などを調査する。
7	共生社会の実現	難病患者やその家族への理解促進事業	患者本人やその家族等による講演会の実施や、理解促進ツールの作成などにより、学生などの若者世代が難病について学び理解する機会を創出する。
8	共生社会の実現	「東京都障害及び障害者理解促進動画」制作・配信	共生社会の実現に向け、障害を知り、障害者について理解してもらうため、伝え方や見せ方を意識した「東京都障害及び障害者理解促進動画」を制作し、配信する。
9	防災対策	誰もが使いやすい東京都防災アプリ	東京都防災アプリの機能を拡充し、子供や高齢者など、誰もが使いやすいアプリにすることで、災害対応力を向上させる。
10	ゼロエミッション東京の実現	SDGs スポーツ「プロギング」による環境美化・健康増進等の推進	ごみ拾いとジョギングを掛け合わせたスウェーデン発祥のスポーツ「プロギング」イベントを開催し、都内環境美化と都民の健康増進に向けた意識啓発を図る。
11	住環境の維持向上	マンション長期修繕計画見直し支援	マンション管理組合等が長期修繕計画を円滑に見直すことができるよう、アドバイザーを派遣し、マンションの適正な維持管理を促進する。
12	農林水産業の活性化	TOKYO スイーツ・コンテスト～東京産食材を食べよう！	「東京味わいフェスタ」において、東京産食材を使用したスイーツコンテストを開催し、東京産食材の魅力を発信する。
13	島しょの振興	電子通貨「しまPAY」の導入	東京11島などでお得に使用でき、各島への応援にも繋がる電子通貨「しまPAY」を導入し、島しょ観光の更なる活性化を図る。

## 大学研究者による事業提案制度 投票対象事業一覧

No.	分野	事業名	事業概要
1	防災力の向上、都市インフラの整備	大気圏・電離圏のクロスモーダル観測と計算科学の融合による巨大津波早期検知の実用化	東京都沿岸部・島しょ部の津波被害を減らすために、大気圏・電離圏変動監視による実用的かつ高精度な津波早期予測技術を社会実装する。最先端の計測技術と計算科学技術を融合することで世界に先駆けた強靱な津波防災システムを構築。
2	誰もがいきいきと活躍できる共生社会の実現	未来を担う子どもたちへの食品寄贈	日々の食事を満足に得ることの出来ない子どもたちがいる一方で、やむなく捨てられる食品がある現状から、未来を担う大切な子どもたちへの支援の基準をつくり、安心して寄贈できる支援組織同士のネットワークと仕組みづくりを行う。
3	誰もがいきいきと活躍できる共生社会の実現	がん治療と就労の両立に向けた支援事業	皆さんががんになった時、がん治療と就労の両立のために病院が応援できるように、頭頸部がん患者本位の医療技術の開発提供と病院施設の充実に加え、病院と行政が何をすべきかの課題を明らかにし、未来に繋げる。
4	誰もがいきいきと活躍できる共生社会の実現	医療と在宅を結びリハビリテーション連携モデル事業 -“リハビリ難民”ゼロを目指したモバイルアプリケーション導入の実証研究-	医療現場で行っていたリハビリテーション内容を基にして、退院後も個別化されたエクササイズが自宅で実施できるアプリケーションの導入効果を実証する。
5	誰もがいきいきと活躍できる共生社会の実現	潜在保育士の活躍と親の「孤育て」解消を目的とした「エビデンスに基づく育児支援環境」の構築	潜在保育士の人材育成を行い、在宅でチャットやオンラインにより親の育児不安相談に対応する「子育てストレスケアサービス」を提供し、その有効性を分析する。潜在保育士と子育てをする親をつなげ、「孤育て」の解消を目指す。
6	感染症に強い都市、医療が充実し健康に暮らせるまちづくり	いきいき・あんしん在宅療養サポート：訪問看護人材育成支援事業	都内のどこに住んでいても、誰でも安心して訪問看護が受けられるように、都内に「移動・巡回型模擬実習室」を設営し、地域で活躍する訪問看護師を育成する。
7	ゼロエミッション東京の実現	2030 カーボンハーフ実現のための都民の共創プラットフォーム構築	メタバース空間に構築した「ゼロエミッション・シティ」で温室効果ガスの排出削減に小中高大学生が取り組む体験型学習アプリを開発。次代の環境リーダー養成と、都政での実装を見据えた学生の柔軟なアイデア創出を目指す。
8	ゼロエミッション東京の実現	都会型太陽電池による創電・蓄電の強化推進事業	一日の総発電量が平板型の約 1.5 倍で、軽量で運搬やメンテナンスの容易な円筒形太陽電池を用いて、あらゆる場所で創電・蓄電を実現。平地の少ない都会で壁面発電により発電量を倍増し、全都民に太陽光発電の可能性を提供する。
9	スポーツフィールド・東京の実現	子どもと高齢者の健康関連フィットネスを改善するための医・科学支援事業	健康で文化的な生活に必要な心身の能力（健康関連フィットネス）に基づく健全なこころと体づくりを支援する。子どものたくましい心身の育みと高齢者の良好な心身の維持による健康寿命延伸を通じて持続可能な健康都市・東京を目指す。
10	スポーツフィールド・東京の実現	デフスポーツ支援を通じたオール東京でのボーダーレスなスポーツ推進事業	発展途上のデフスポーツについて、スポーツ医学による学術的側面や ICT による技術的側面から支援し、官学連携による普及啓発を行う。デフアスリートが社会貢献できる環境を作り、東京都のスポーツ推進と真のボーダーレスを目指す。